

かもめのたより

新年号

第61号1月便

2008年
1月1日発行
施設機関誌



小松原デイサービス利用者様の共同作品

新春

賀正

新年

「習字」白井 ともゑ様(小松原デイサービス利用者)

「平成20年の初春を祝う」

王寿會 理事長 石原 愛子



皆様明けましておめでと
うございませう。初日の出に手を合
わせて今年一年の幸せと健康
をお祈りしてお節料理に舌
鼓している皆様の姿を思い
浮かべて嬉しく私も一杯の
お屠蘇に酔っております。年
頭には心を晴れ晴れと今年
は良い気持ちで楽しく過ご
したいと願ってゆくとが大
事なことと思っております。

昨年をふりかえって、創立記念日には王寿會の二階で褒章式が行なわれボランティアの方々に謝意を申し上げました。本当にありがとうございます。永年勤続の職員さんにも心から謝意を表して感動の記念式を行なうことが出来ました。

7月29日(日)、待ちに待った納涼祭がやって来ました。素晴らしい晴天でした。雨が降ったことがないという王寿園の納涼祭はどんなに幸せな運命でしょう……。うれしいことです。今までにない程の盛況で感動の「るつぽ」でした。酷暑もなんのその、みんな楽し

くて楽しくて、園内中「わあわあ！がやがや」のざわめきで埋まりました。利用者の方皆さんもご家族の方皆さんもそしてご来園のお客様もさぞ楽しかったことと思います。こんなたのしい行事が出来ることは王寿園の「幸先の良い天の御知らせ」と感じ心から感動しました。花火の打ち上げを拍手で見上げ乍ら成功裡に納涼祭の幕は閉じました。

興奮もさめやらぬ間に敬老・みのりの会の日がやって来ました。みんなやりましたね！設営も中々の苦労と聞きました。本当に苦労かけました。作品展の立派さに驚きました。習字、絵画、あれだけの物はとても並々ではない腕前ですね。皆さん素晴らしい物を持っていらつしやるのですね。敬服に値するものを感じました。

アトラクションと職員のパラパラ踊りに又々感動しました。元気を頂きました。おわりの挨拶には、エイエイオ〜！とごぶしを握り上げ「がんばろう！」と叫んでしまいました。お年寄りもまた一段と元気を頂いたものと感じました。

やがて19年も暮れ、新しい春になりました。いつも前向きでたのしく暮らして行きましょう。王寿會に乾杯！



「社会福祉法人としての責務」

王寿會 総合施設長 石原 世光



謹賀新年謹んで御祝い申し上げます。平成20年という区切りの年の元日を迎え、新たな決意を胸に今後予想される大きな介護保険の変遷にどのように向き合っていくのか、私達社会福祉法人がその役割の中でどのように変わっていくか、年頭にあたり不安と期待で57歳の身が引き締まる思いを感じています。

平成12年4月より介護保険法が施行され、国民が社会保障制度としての介護保険法に多くを期待し、利用者も増加する中で制度の歪もいろんな面に表れて来ました。軽度の利用者の増加に伴う財源の圧迫、在宅サービスと施設サービスのバランスの偏り、とりわけ財源不足による介護報酬への度重なる締め付けは今後の法人運営の大きな不安材料となっております。介護予防事業の枠が設けられ利用者への負担も、事業者側の負担も増しています。特に特別養護老人ホーム運営の医療法人認可が打ち出されています。特別養護老人ホームはこれまで社会福祉法人が長年血と汗で築き上げてきた高齢者の最後の生きる空間であった筈です。療養型が廃止されるから特養へ移行という安易な考えだけで成り立つ事業ではない筈です。介護保険が今後どのように国民の中に浸透していくかは制度に関わる費用や基準を机上の計算から制度改正をする

のではなく、利用者が真に介護が必要となった時、適切なサービスを受けられる現場を介護保険制度が構築することだと思えます。

今福祉の現場がピンチです。それは人材が集まらないことです。好景気の波で社会の雇用ニーズの増加と、巷での福祉の現場へのきつい、汚いなどの悪評に伴い職員のなり手がほとんどいないことです。私共王寿會においても20年度採用者を何名か募集しましたが数名しか集まらないのが現状です。これは福祉の現場の状況だけでなく労働条件に伴うところが大きいです。言い換えれば介護報酬の締め付けは即人件費に関わってくるということです。職員を見ていてこんなに頑張っているのだからもつとなんとかしてやりたいと思います。今後の法改正においてはこれ以上の報酬の減額は現場崩壊につながりかねません。フィリピンやインドネシアのケアワーカーの導入も必要でしょう。しかし日本の若者が福祉の現場から乖離しないようにしっかりと配慮をした法改正を期待します。

新年早々から愚痴っぽくなってしまうのですが、今でも今後も福祉事業はノウハウをしっかり持った社会福祉法人がリードしていくべきではないでしょうか。王寿會も今年で14年目に入ります。いろんな面で補修が必要になってきました。一年一年の歴史が王寿會の力を養ってくれてきました。福祉という言葉は幸福という意味であり、福祉事業は利用者も幸福を感じながら日々の業務を行っていくものだと思います。福祉の仕事はそんなにも喜びや可能性を秘めたすばらしい仕事だ、と誇りに思っています。王寿會を運営して行く決意を新たにしております。

「誠実に生きる」

王寿會 事務長 平尾 本子



新春のお慶びを申し上げます。本年も皆様にとってよい年でありませう心よりお祈りするとともに、昨年中に賜りました皆様からの厚情に厚く感謝申し上げます。

昨今の政財界の不祥事を知るにつけ、「誠実に生きる」ということの大切さを痛感します。

どんなに頭脳明晰であつても、経営能力があつてもその基に真面目さがなければいつか破綻することになる。万が一不祥事が発覚しなくても、その人の人生そのもの（人相・生き方に表れる）と思います。王寿會は、これからも「ご利用者の皆様への誠のサービス」に向けて誠実に邁進していきたいと思ひますのでこれからも「指導・鞭撻の程」よろしく願ひいたします。

さて、今まで海外に出かけるなんて夢のまた夢と思つておりました。しかし、「井の中の蛙」で終わるのはさみしいと思ひ、三年前から二度ほど念願のヨーロッパ旅行に出かけました。二度の旅行で、ドイツ・スイス・フランス・イタリアと旅しましたが、そこで感じたことをお話ししたいと思います。まず、私事ですが、おかげで、「晴れ女」のようどこへ行つてもよく晴れ最高の景色を見ることができたのは、幸せなことでした。特にスイスのアルプスでは、現地のガイドさん

が、「この夏1回か2回しかない晴天です。」とおつしやつたとおり、雲つない晴天に恵まれ、空気の澄みきつた中、アイガーや・モンブランの山々を二日も続いて見ることができました。自然の壮大さ・荘厳さを目の辺りにできた感激の日々でした。

その中で、景色とは裏腹に、今まで溶けることになつた氷河が毎年溶け雪崩等が起きていくということでした。これも地球温暖化の表れと悲しい気がするとともにこれは一例であつて、地球のいたるところでいろいろな現象が現れていると感じました。イタリアの「青の洞窟」も海面が上がり、以前は70パーセントの割合で中に入ることができたそうですが、今では、1週間のうち、1・2回見られればラッキーということでした。これから、私たちが少しでも自然環境を大切に努力をしなくてははいけないと思ふ旅でした。

また、海外に出て、あらためて日本のすばらしさを知ることができました。皆様もお感じのことと思いますが、「日本食」のすばらしさです。菜食を中心としたバランスの取れた食事には、日本のご先祖様に尊敬の一語です。また、水の豊富さと安全性（ヨーロッパでは、ミネラルウォーターがコップ一杯420円です。）それからなんといっても、サービス業に徹する木目細やかさ・やさしさだと思ひました。旅館や電車内等でのサービスはヨーロッパでは、ありえませんが、日本に帰つて、旅館の仲居さん・新幹線での売り子さん・の丁寧さには頭が下がりました。

話はつきませんが、今回はこれまでといふ話です。また機会があれば、お伝えしたいと思ひます。今回の旅行で感じたことが、仕事にも発揮できればと思ふ今日この頃です。この幸福感をエネルギーに、これから

の王寿會のサービスが、皆様方のお役に立ちますよう、初代理事長・現理事長の意思を遵守し誠実に運営に当たる所存です。



▲アルプス山脈 ユングフラウ（スイスにて）

「初春に思う」

王寿會 施設部長 石原 晴代



新年明けましておめでとうございませう。平成20年の初春を皆様と共に迎えることが出来、心から嬉しく思ひます。私事ですが、昨年9月初孫を授かり、忙しい中にも充実した日々を送つております。又今年も還暦を迎えることになり、人生の節目を感じ、心が引き締まる思ひであります。

時の経つのは早いもので王寿會も13年目のお正月を迎えました。この時期いつも父（前理事長）のことを思ひます。父の残した「思い出のわが人生」（創立10周年記念誌）を読みながら、王寿會への思いを再確認しております。「世のため人のため一杯努力しなさい。」「人は一人で生きているのではない社会の中で生かされていることを忘れるな。」「人に優しく自分に厳しく。」「人を憎むな、自分の至らなさを反省しなさい。」等々……父からの教えます。言うは易く、行うは難し。父はそれを貫いた人生だったと感銘しております。私も少しでも父に近づけたらと思ひ……多くの人々との出会い、心の触れ合うことが一番の近道かと思ひ、日々心掛けております。

現場にいると若い職員がお年寄りの皆さんと触れあいながら、優しさ・いたわる心を自然と身に付けているのを見ると心が和みます。お年寄りが「あなたを待つとつたよ。」と、笑顔を見せてくれる……なんとも言えない感動があります。父の思いが生きていると実感する時です。こんな心通う職場をいつまでも守つていきたいです。これからも父の姿を心に焼き付けながら王寿會と共に歩んでいきます。

年頭にあたり、初心を述べさせていただきます。一年の計は元旦にあります。今年も皆様からのご支援を心からお願い申し上げます。
平成20年元旦、皆様に幸多かれとお祈り申し上げます。

祝敬老・みのりの会

9月30日(日)

今年も実りある会となりました!

開催!!



たくさんの祝福と喜び、そんなうれしい気持ちに満ちあふれた1日でした。



おめでとうございます!

うれしいねえ



皆さん、笑顔が素敵です!



東愛知新聞 2007年(平成19年)10月1日(月曜日)

お年寄りと楽しいひととき 王寿園で敬老会



盛り上がったステージ 王寿園で

豊橋市小松原町の高齢者福祉施設「王寿園」で30日、敬老会と文化祭を兼ねたイベント「敬老・みのりの会」が開かれ、楽しいステージイベントなどで盛り上がった。
ステージでは、日本舞踊の西川流清歌会と、舞踊の向日葵(まわり)会の会員らが演じたほか、職員有志のパラパラダンスや、ケアハウス入居者による大正琴の演奏などがあった。
このほか、茶席や喫茶コーナーも設けられ、施設の利用者らが楽しいひとときを過ごした。
(竹下貴信)

祝辞

ケアハウスくろしお 河合 やすよ



先ほどご紹介にあずかりました、河合やすよです。
私は平成12年12月にこちらのケアハウスくろしおに入居いたしました。
自然に囲まれた生活は、何ものにも代えがたく元気に過ごしています。折り紙クラフトや、大正琴、生花と、日々の生活にも取り入れ楽しんでいます。
私も「米寿」を祝っていたとき、本当に嬉しく思っています。理事長様をはじめ、職員の皆様のお陰と感謝いたしております。
今後とも変わらぬご支援のほど、お願い申し上げます。お祝いの言葉と代えさせていただきます。



お揃いで艶やかに
踊りました。



応接室で生花やその他の
作品を楽しんでいます。



喫茶室で久しぶりに
ご家族と楽しんで
います。



恒例の職員の踊りです。
ミッキーマウスマーチ(パラパラ)



特養王寿園の皆様を
今年は魚に見立て掲示しました。



男性の衣装で勇ましく
踊りました。



王寿園職員のライブです。

敬老・みのりの会のボランティアに感謝

中部福祉専門学校2年 松本 江美子

王寿園では第三段階の実習で、大変お世話になった事もあり、みのりの会のボランティアに参加させて頂きました。
コミュニケーションの時間では色々な方とお話をさせて頂き、私を覚えていらっしゃる方、いない方と様々でしたが、皆様の元気な姿を見たらとても嬉しい気持ちになりました。

実際のボランティア中は一人の利用者様の付き添いをさせて頂き、展示物を見たり、オヤツを一緒に食べたり、演技を見させて頂きました。初めて利用者様と同じテーブルで一緒に物を食べると、本当の意味で利用者様と同じ目線で同じ時間を共有でき、自然と会話が増えました。その時に改めて、利用者様に寄り添う事は大切だと実感しました。

他にも、いつもとは違った雰囲気の中で利用者様のとても楽しそうな笑顔は、実習中とはまた違って新しい発見にもなりました。
ボランティア中は私までも、とても楽しい時間を過ごさせて頂いた、最後の良い思い出となりました。本当にありがとうございました。

敬老・みのりの会を終えて

実行委員長 石原 篤志

「敬老会」と「みのりの会」が一緒に行われる様になり今年で二回目になりました。昨年より層良いものを皆様に提供しよう、と実行委員 同力を合わせて頑張ってきました。

準備に関しては昨年よりゆとりを持って、早めに動くよう心掛けたのが功を奏しました。時間通り行うことができ皆様を待たせることなく完璧な状態で会を始めることができましたと自負しています。

式の内容は出来るだけ利用者様に負担が無いようにと心掛け、短い時間の中でも楽しんでいただける内容になる様に皆で話し合っていました。

特に特別演芸披露でお越しいただいた清歌会様と向日葵会様は踊りも衣装も本格的で観ていた方全員楽しんでいました。また、恒例の職員有志のミニライブと納涼祭でも活躍したパラパラも披露できたので、短い時間で飽きさせない内容になったかと思えます。

今年もボランティアの方が沢山来てくださったのでより多くの利用者が会に参加できました、感謝しています。中には以前王寿園で働いていた方も来ていただけました。職員も利用者も懐かしいことに話が弾んだシーンもありました。

委員長として初めて司会をする事になりました。スタート時はとても緊張していましたが、施設長や周りの実行委員の方が手伝って下さり大きなミスも無く会が終了できたことをとても感謝しています。

この「敬老・みのりの会」でみんなが助け合って一つのことを成し遂げる楽しさを知る事ができました。最後に来年も皆さんが元気で会に参加できること楽しみにしています。ご協力有難うございました。





書と画紙で作りました。



繊細なタッチで描いてあります。



春夏秋冬を作りました。



貼り絵の作品です。

結婚しました



さだはる 貞治
きよえ 聖恵

9月29日(土)、雨が降る悪天候の中、消防放水競技大会に参加しました。僕たちの出場した二号消火栓の部は消火器および二号消火栓での初期消火に於けるタイムを競うものです。昨年は6位というふがいない結果。雪辱を期し臨んだ今回は、見事準優勝をする事が出来ました。

今回の経験を活かし、地震や火災など災害時にも、柔軟かつ、適切な行動が出来るように心がけて行きたいと思えます。そして来年こそは、王寿會自衛消防隊の新鋭が、優勝旗を持ち帰ってくる事を期待しています。

〓間瀬・村松〓

消防放水競技大会に参加して



準優勝!

王寿園歌壇

裏町は 悲しきものよ
捨てたも 食ぶ物なきか
痩せて居にけり。
(敗戦を偲びつつ)

花見れば いっしか心
和むなり。
人に生れ来し 甲斐ありとしき。



特養入所者 藤原正次郎様

父の日に 想い出綴り
父に短歌捧げたり。
香を焚き 朝を朝なに 抹茶を点てて
しばしを会話をすも 楽しかりけり。

久々に帰る我が家の狭庭にて
愛娘と共に卒寿の母と
初秋の庭 掃除に余念なかりけり。

緋の薔薇は今年開かざりけり。
金木犀も枯れ果てて 良き香もあらず
淋しき庭を 眺めてありぬ。



特養入所者 上田恵美子様

第53回豊橋まつり総おどり、に参加して



「マツケンのええじゃないかⅡ」で元氣よくスタートした第53回豊橋まつり総おどり。念願のお天気に恵まれ（ちよつぴり風が強く寒かったけれど）、市民参加者、総数1万人！ 熱氣と歡喜の中、1時間半踊り続けました。王寿會も3年前から参加していましたが、2年とも雨にたたられ不完全燃焼しておりました、が今年は思う存分踊りまくりました。参加者も職員・職員の子供さん・ボランティアの皆さん合わせて36



名と沢山集まっていただきとても賑やかでした。若者はアルコールも入り、若干羽目を外す事もありました。来年も皆様のご協力を得て参加したいと思っております。よろしく願います。 「あつという間の1時間半、楽しかったです！」

（実行委員長 石原）

小松原 王寿會 行事

一泊旅行



今年の一泊旅行は、6月27、28日に、館山寺温泉「開華亭」へ総勢28名で行って来ました。利用者様のご家族様の参加もあり、沢山の笑顔を見ることができました。1日目は、浜松フラワーパークへ寄り、花や緑に触れ、のんびりと過ごして頂きました。その後、旅館へ移動し、お楽しみの夕食と宴会。目の前には浜名湖が広がり、景色も見ながら楽しんで頂きました。カラオケや職員の踊りなども行い、にぎやかな夜となりました。あつという間の2日間でしたが、無事に旅行を終えることができました。ありがとうございます。



食事会

10月31日、秋晴れの中、ホテル日航豊橋29階「ラメール」にて食事会が開催されました。4台のワゴン車に分乗し王寿園を出発した参加者は、久しぶりの外出に胸を躍らせ、窓からの景色を眺め楽しみながらホテルへ到着しました。



静かな雰囲気の中で29階の窓から豊橋市街を一望しながら、ゆつくりと食事をする事が出来ました。食事はバラエティに富んだ品数が揃い、皆さん何を食べようか迷われる程でした。目からも舌からも素晴らしいご馳走でした。とりわけデザートに人気が集まり、全ての種類を制覇された方もみられ、皆さんとても満足な表情をされていました。また、今回は利用者と一緒にご家族の参加者もみられ楽しいひとときを過ごされておりました。



来年も皆様の参加をお待ちしております。

小松原デイサービス

そうめん

7月中旬に恒例となります「桶そうめん」を行いました。

まだ梅雨明けもしておらず、すっきりしない天気の日もありましたが、一足早く皆様に夏を感じて頂けたようでした。

そうめんの好きな方も多く、ボランティアの方々や、事務所、デイサービスの職員と食べる食事はいつもと様子が変わって会話はずみ、いつもよりたくさん食べる方が多く、あちこちから「あー、食べ過ぎた。」との声が聞こえてきました。

最近、季節を感じる事が少しずつなくなりつつある気がします。行事を行う事でその季節を感じて頂き、日本の四季が素晴らしい事を再認識する事ができるお手伝いが出来たら嬉しいですね。



夏祭り



8月と言えば夏祭り。1週間前から盆踊りの練習をして、祭りの気分を高め、昔を思い出して祭りの話を聞かせて頂きました。

本番では、職員が日替りで叩いた大太鼓を囲んで輪になり、「豊橋音頭」「東京音頭」「炭坑節」を踊って頂きました。太鼓の音がはざれるのもご愛嬌。手を動かしたり、手拍子したり、唄ったりと大変盛り上がりしました。

そして、夏祭りの出店と言えば輪投げ。懐しく思う方も多く、景品もかかっていた為か、皆様少年や少女のような目をしながら輪を投げられ、高得点を取ると本当に嬉しそうなお表情をされ、貰った景品を笑顔で「孫にプレゼントしたい。」という方もおられました。

避難訓練

東南海地震がいつ起きてもおかしくないと言われる中、デイサービスでは年2回、春と秋に避難訓練を行っています。

毎回「もしデイサービス利用中に地震が起きたらどうするか」という避難手順の説明をし、いざという時に少しでも頭の中に残るよう努めています。

今回は防災グッズの紹介で、防災食のお湯や水を入れて食べるご飯の試食をして頂き、梅味のご飯を食べて「案外おいしい。」との感想が聞かれました。

職員の中でも、まだまだ防災グッズがある家は少なかったですが、もの時に備え、まずはご家族で地域の避難場所を確認し合っているでしょうか？



みりの会



年に一度、作った作品を色々な方に見て頂ける機会です。普段のレクリエーションの手芸や習字、絵手紙などの作品を展示したり、家で作った物を持って来て下さる方もみえます。今年も沢山の方に皆様の作品を見て頂く事ができました。又、来年に向けて色々な作品を作って頂きたいと思えます。



敬老会

一年の年間行事の中で、メインイベントと言っても過言ではない敬老会。施設長からの挨拶の後にその日の1番のご長寿の方や節目の年を迎えられた方々に賞状の授与をさせて頂きました。

おめでとうございます

小松原デイサービス 長寿番付表

横綱 96歳 北谷 忠男様

大関 95歳 近藤志げ子様
朝蔭 秋江様
藤井 みつ様
戸田 あい様



中結 94歳 小池 清様
縣 八十七郎様

卒寿 90歳



伊藤 忠司様
大西 志志子様
水村 スエニ様
木下 伊藤 三様

米寿 88歳



金子 喜み様
坂本 喜あき様
鈴木 志子様
鈴木 志忠様
玉川 志忠様
中川 志忠様
彦坂 志忠様
日向 志忠様
渡辺 志忠様

これからもお元気で

その後は和やかな雰囲気です、利用者様の出し物がありました。詩吟やカラオケ、「安来節」を唄いながらの「どじょうすくい」や大正琴など、沢山の方々に一芸を披露して頂きました。「家で練習してきた。」と言われる方や、デイサービス利用中にカラオケの練習をされるなど、準備万端に本番を迎えられ、会を盛り上げて下さいました。

職員も負けてはいられません。皆様に負けじと業務終了後に練習をして、ヒゲダンスやウクレレの演奏、学生服やドレスを着てのカラオケ、納涼祭で見れなかった方が多いミッキーマウスマーチの踊りを見て楽しんで頂きました。

ありがとうございました

昨年一年を通して沢山の方々にボランティアに来て頂き、デイサービスを共に盛り上げて頂きました。この場をお貸りしてお礼を申し上げます。そして、今後ともご協力をお願い致します。

- ◆ 琴笠会様
- ◆ 友の会様
- ◆ ぱびゅペポン様



新人職員紹介

新しい職員が増え、お迎えの際にご家族様より「見かけない顔だね。」などの言葉を頂きますので改めて紹介致します。



● 久保陽子
〔好きな食物〕
焼肉



● 河辺友美
〔好きな食物〕
おかし

おんが音楽に魅せられて

音楽クラブ講師 濱島 須美子

お盆の8月15日、最高気温38度を記録した暑い日、10時半より音楽クラブが始まりました。岐阜から、若いお嬢さん2人を迎え、私の生徒一人と濱島家の家族4人、合わせて7人で演奏させていただきました。岐阜からのお二人と息子は、Wing(フルート・ピアノ・バイオリン)という音楽療法士のグループで公共施設等で活動しています。当日のプログラムは、クラシックからナツメロまで、フレッシュな演奏に、温かい拍手が贈られました。

客席のすぐそばでの演奏は、お年寄りの気持ちに寄り添っているかのように微笑ましく、「お兄さん素敵」の声も飛び交いました。リズムに合わせて、手拍子も入り、昔覚えた歌が自然に声となり、響き合いました。フルート・ピアノ・バイオリンそれぞれ違う音色なのに、調和しひとつの響きとなって、私たちの心にそっと入り込んで来ました。

毎月一回の音楽クラブでは、聴けない楽器の音色に、皆さん素敵な表情をされていました。いつもは、呼吸筋を鍛え、息を長く吐けるように練習しながら元気に歌を歌っています。この日は、生の音を沢山聴いて、感性の脳である右脳がおおいに活性化されたことと思います。最後に「ふるさと」を手話を付けて全員で歌い、和やかな笑顔に包まれて終わりました。夏の暑い日、少しの時間でしたがさわやかな気分になりました。こんな素敵な時間を皆さんとともに過ごせたことに感謝申し上げます。

過ぎ去った日を振り返って

ケアハウスくろしお 山本 寿々枝

此の度は、喜寿のお祝いをして頂き有難うございました。小さい頃から大人しくしている事が嫌いで歩くことより走っている、鉄棒や川遊び、海では泳げないのに背丈一杯まで入って行ったり、最後は馬鹿と煙の諺通り、登山次に岩山と熱中して居りました。昭和41年10月、知人の紹介で夫と結婚、馬鹿と煙の高い所から降りました。

昭和42年9月交通事故で二川病院に入院、その儘豊橋が第二の故郷となりました。後で知りましたが、夫は生まれつき体が弱く小学校入学までは生きられないと言われていて内臓摘出など健康なところが無い位で最近も転んで肋骨を折り、整形で病歴をお見せしたら「病気の倉庫やな」と呆れて居られました。

私も又、両股関節の人工関節手術をして30年程ですが、身体の不自由を感じるようになり、お世話になっていたヘルパーさんの紹介で平成11年1月「ケアハウスくろしお」に入居させて頂きました。

近くにスイミングスクールがあったのでリハビリのつもりで始めたのが例の如く、山から水中へ変わり入居後も続けて居りました。その間転んで左腕、右腕と二度の骨折、脳内出血と病院のお世話になり乍らリハビリを続行。

夫も病院とは極く親しい間柄？ですが性格は頑固そのもの、王寿會初代理事長さんとは同年の大正7年生まれですがいつも穏やかなお顔をして居られどうも違うものかと思いましたが。

義弟から時たま近況を尋ねて電話がありますが必ず出てくる言葉は「相変わらず頑固ですか?」「ええ変わりませんよ アハハ」です。病院通いが仕事のような日々「お互い支え棒になつてやさしくしようね」「うんやさしくしてるよ」ほんまかいな???



ホームヘルプサービスセンター

弥生王寿園

冬といえばこたつにみかん、そして「クロスワードパズル」？です。
訪問先のお宅でもパズルにチャレンジされている利用者様は非常に多いです。
そこで、「お正月」にちなんだ問題を作ってみました。是非お試しあれ…



私に聞いてネ



“クロスワードパズル”

タテのカギ

1. いくつになってもお正月にはもらいたいなあ…
2. お雑煮は関東〇〇、関西〇〇がありますね
3. お正月の遊びといえば、昔は凧揚げとこれです
4. 古くからの友を百年の〇〇と言います
8. 冬は一年で一番寒い〇〇〇〇です
10. 今年こそ「濡れ手に〇〇」の生活を送りたい!



お正月といえば

A	B	C
---	---	---

1	A	2	3	
		4		
5	6	C	7	8
9		10		B
		11		

答えは13ページにあります。

ヨコのカギ

1. 音沙汰ないこと「この〇〇〇〇〇〇者!」と言われるよ…
4. 〇〇の耳に念仏
5. トランプの〇〇並べて遊ぼう!
7. お正月に伊達〇〇、昆布〇〇食べたいなあ…
9. 人気商品+売れ残り商品をくっつけて 〇〇〇〇〇販売
11. 骨がある〇〇〇〇が落ち着きます



ケアプラン相談センターは
月曜日から金曜日、第2・4
土曜日営業致しております。
お気軽にご相談下さい。



弥生王寿園

ケアプラン相談センター

前回、運動と食について掲載させて頂きました。今回は、「役割」について触れようと思います。地域で生きがいのある暮らしを送る為にはどうしたらいいのか？高齢になると、退職、引退等で今までの役割が少しずつ減っていきます。急に役割がなくなると、自分の生きてきた価値観を見失ってしまう恐れもあります。まずは、自分の身の回りのことは、できる範囲で自分で行いましょう。社会での役割を持つこと。例えばシルバー人材センターなど、まだまだ活躍できる場があるかもしれません。他に町内会の役員や老人クラブへの参加等、新たに生涯学習などへ取り組むことも、いきいき過ごすヒントになるかもしれませんね。

弥生王寿園
地域包括支援センター

百寿

百才のお祝



これからも皆さんの
ご長寿をお祝い致します。



今年の敬老会は、弥生で初の紀寿(百歳)のお祝いをいたしました。他の利用者の方々も皆口々に「見習いたいね」と喜んでおられました。喜寿や米寿の方々も表彰され、賞状を手になされ、とても喜んでおられました。
弥生では九十歳以上の方も長寿の方として、お祝をし
ております。段々長寿番付に名前が載る方が増えていて
喜ばしく思っています。

デイサービス弥生

けいろukai
敬老会

ボランティアの方にも毎年来ていただいで、すてきな踊りを見せていただいでいます。今年は初めて琴の演奏もきかせていただきました。



厨房だよ

食事をうまく食べられない方が増えました。飲み込みの悪い方やせいの多い物を口から出してしまう方などがおられ、厨房でも工夫しております。現在、「ソフト食」で提供を始めております。詳細は次回でお楽しみに。

ある利用者様のお宅から見える風景

訪問入浴は右の様な温泉の効能はありませんが入浴を楽しんでいただけるように、入浴剤を使って香りや色を楽しんでいただいでしております。

約千二百年前、僧行基により発見されたと伝えられる古湯。昭和30年頃から発展した温泉街は、小高い山の山腹から海へと続く斜面に大型ホテルや旅館が建ち並ぶ。1998年、アルカリ性単純泉の新源泉が湧出。肌に優しいお湯は、「美白泉」と呼ばれ人気を集めている。温泉街にある6軒の宿の名湯に入れる「トライお湯口」に挑戦すれば、歴史ある塩化物泉や単純炭酸鉄泉などのお湯と二緒に楽しめる。

特徴

- アルカリ性単純泉
- ナトリウム・カルシウム塩化物泉
- アルカリ性単純泉
- (五十肩、神経痛、疲労回復、関節痛など)
- ナトリウム・カルシウム塩化物泉
- (神経痛、リウマチ、婦人病、火傷、冷え性など)

温泉紹介 三谷温泉

訪問入浴サービスセンター

弥生王寿園



アレンジフラワー



男性も参加して下さっています
季節折々の花をいねいに
飾っていきます

運動会



今年の運動会は
職員のリレーで
盛りあげています。

かめめ
実習に来た中学生さんも
着てくれました。



エアロバイクとステッパー



歩行訓練

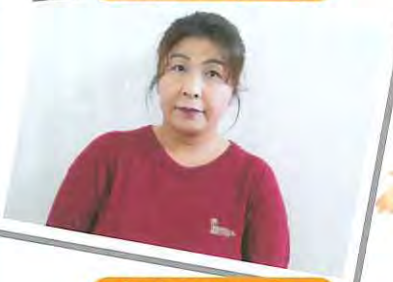


フロア歩行

新入職員紹介



介護士 高橋佳子



介護士 中西弘子



今、弥生では様々な形で、体を動かしていただけるよう、取り組んでいます。
エアロバイクやステッパーなど下肢筋力アップの体操に挑戦されています。



チューブ体操



ダンベル体操

映画との出会い

弥生王寿園 施設長 平尾 健一



明けましておめでとございます。
小松原王寿園14年目、弥生王寿園7年目を迎えることとなります。この年に、皆様のご支援、ご協力心より感謝申し上げます。

今回は年頭の文章にはそぐわないかもしれませんが、お許しください。

映画のことについてお話をしたいと思っております。

私も、今までに見聞を広める意味でジャンルを問わず多くの映画を鑑賞してまいりました。映画を制作するに当たっては見る者がいかに感動しロマンを与えられるかが問題になります。その為にはメジャーな作品になると莫大な費用と多くの人材を配し制作されます。しかし私はあえて、マイナー思考でありまして、その中において心に残るいくつかの作品があります。中でも自分にとって最高傑作はといえば、1980年に配信されたエレファントマンというアメリカ映画です。内容は、19世紀に1人の人間の奇異に満ちた人生を描いた実話です。カラー作品ではなく白黒の模写が一段と中身を引き立ててシビアに描く描写の1コマ1コマが今でも鮮明に頭に残っております。目の前に

ある困難を、ひたむきに生きた感動の名作と言って良いと思います。また機会があれば是非皆さんにも見てほしい作品です。

もう一つ最近の作品ですが、昭和の中期を描いた作品で感動とノスタルジックな気分浸った映画をご紹介します。

映画の題名は、『オールウェイズ三日の夕日』で、戦後復興の中、集団就職で東北の田舎から東京の町工場に集団就職で働くことになった主人公の心、葛藤、仕事に対する思い、下町の人情なども絡めながら様々な視点から当時を振り返る内容であります。当時の日本の文化、娯楽などもリアルに再現し当時のマンガも紹介され、少年ジエットや月光仮面なども紹介されており私も夢中になって読んでいた頃を思い出させてくれました。最大の場面は、当時は三種の神器と呼ばれた白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫などは、庶民の高嶺の花となっておりなかなかお目にかかれない物でした。そこへ主人公の就職先の町工場の主人は家にテレビを購入し近所の方にお披露目となる場面がありました。それは当時としては、たいへんな出来事でお祭り騒ぎをしながらテレビに食い入る場面などは、当時の私の田舎でも同じような場面がありその当時は振り返り胸に熱いものがこみ上げてきました。皆さんの中にも同じ体験をした方も多いと思います。昭和の時代を様々な経験とおして学んだ世代の方にはこの映画は心温まり、古きよき昔をしのばせることになると思います。

特養王寿園

お手伝い

ありがとうございます

ございます！



最後にいまや日本も世界第2位の経済大国となりました。お金さえあればなんでも買え、物には不自由することもありません。すばらしい発展を遂げましたが、これまでの過程には多くの犠牲がありその上に今の日本があることを忘れてはならないでしょう。今、高度成長がもたらした事で、様々

な便利な電器製品が生まれ人は楽をすることを覚ええました。しかし、生活・文化の向上の反面、モラルの低下を感じている方も多いのではないのでしょうか。周りに対する配慮、社会生活の中の常識、職場における規律…忘れてはならないと思います。

2階にも3階にも毎日職員のお手伝いをしていただいている方々があります。オシボリ巻きやエプロンたたみなどですが実に几帳面に短時間で終了してしまいます。

お話を伺うと異口同音に、「うれしい！」「スッキリする」「スカッとする」などで、お手伝いをする、お手伝いが出ることに自体に感謝している様子です。これからもズツとお願ひいたします。



3階作業風景



2階作業風景

こんなに几帳面に出来ました！

ケアハウス

書道クラブ



書道クラブ講師 小久保 成美

みのりの会の作品が仕上がった時は、うれしさと感謝で一杯でした。一ヶ月、皆さん頑張りましたね。今年も四季をそれぞれ入れて作品にしましたが、四人全員が80歳以上なので体調が悪く休む日もあり、心配したこともありました。書くことが好きなのでしよう、皆さん楽しくおいこをされています。心の若さを失わず、いつまでも和やかな時を過ごしていただきたいと願っています。



ケアハウス

生花クラブ

生花クラブ講師 川村 蓮加

いつも大変お世話になってます。生花クラブの皆さんは年齢を感じさせない若々しく元気です。いろいろ教わる事が多くこちらへ伺う事が楽しみです。最近毎回新しいお顔に出会えて賑やかになり、とても嬉しく思っています。



お花を生け終えて後のテイタイムが又楽しく、人生の大先輩の体験に基づいた貴重なお話が伺えて楽しく過ごさせて頂いています。



白寿・王寿 長寿を慶祝いたします!

平成19年12月31日:基準日

王寿



102歳

荻原まつへ様

101歳

小椋とくゑ様

米寿88歳

赤塚 秋子様 岩本ちよ子様

上田恵美子様 永田ヨシ子様

野口喜代子様 大場 たき様

河合やすよ様 小澤 よね様

澤山とし子様

白寿



99歳

大矢 なか様



96歳

中村 ちづ様

卒寿

90歳

若山みさへ様
伊藤とし子様 岩崎ササエ様
神谷すみ様 矢野よね子様

傘寿80歳

加藤 次男様 花井 とし様

喜寿77歳

松岡 義兼様 杉浦 スミ様

山口チヨノ様 山本寿々枝様

特別長寿91歳以上の方20名

(上記以外の受賞)

王寿會 平成20年前期行事予定

行 事	予定年月日
新年祝賀会	平成20年 1月 1日 (月)
節分・豆まき会	平成20年 2月 3日 (日)
梅 見 会	平成20年 2月20日 (水)
桃の節句	平成20年 3月 3日 (月)
王寿會供養祭	平成20年 3月28日 (金)
花 見	平成20年 3月最終に予定 (桜狩りウィーク)

※予定日時のため、内容・日時・時間等変更する場合がございますがご了承ください。
※食事会の詳しい内容等は、日程が近くなりましたら改めてお知らせいたします。

発行 社会福祉法人王寿會

理事長 石原愛子

〒441-3123 愛知県豊橋市小松原町字浜41番地
TEL.0532-21-3511(代) FAX.0532-21-3514
URL.http://www.oujukai.or.jp

製版/岡崎製版所 TEL.0532-53-5105
印刷/協同印刷 TEL.0532-45-4141

平成18年度決算資料等の閲覧が出来ます。希望される方は、遠慮なく事務所にお申下さい。

「社会福祉法人王寿會が設置・経営する施設における苦情解決に関する要綱」にのっとり苦情を解決する為、次の3名の方が第三者委員に任命されております。委員の方に連絡をとりたい場合は王寿會にお電話ください。

【中西芳夫様、山田正様、伊藤松太郎様】

編集後記

皆さん新年おめでとうございます。昨年の夏は殊の外暑く8月は猛暑、9月に入ってもとても暑く例年ならば彼岸までには「彼岸花」が咲き始めるのに、咲き始めたのは彼岸の中日くらいでした。また10月に咲く金木犀も5日ほど遅れて咲きました。二酸化炭素排出量を主原因とする地球温暖化の影響で植物の世界にも変化が起きている様子です。さて、2008年も幕を開けました。今年は子年で動物では鼠があてられています。子年の運勢は、性格は正直、貯蓄心に富み、相応の財産を保つ。柔和に見えるが怒りやすい面もあります。どちらかといえば無邪気な氣質。だれとも機嫌よく付き合う。おおむね、世間の評判はよし、とのこと。では何故「子」は「鼠」なのか? :鼠は子だくさん。子供をどんどん生み増やす(つがい)の鼠は、一年間に1・154匹になる、という説があることから「子」を鼠にあてた、という。さて、本年度はどの様な内容が「たより」に盛り込まれるのでしょうか。今年も編集委員同連携を密にし頑張ります。乞うご期待!